

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス にじのかげら		
○保護者評価実施期間	R7年6月20日		～ R7年7月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数)
○従業者評価実施期間	R7年6月20日		～ R7年7月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	R8年2月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムが固定化されないよう、職員全員で内容を工夫している。季節を感じられるプログラムや、外出レクリエーションなど様々な経験が出来るよう工夫している。	ご家族では中々難しい電車でのお出かけや、お買い物レクリエーション、工場見学など、長期休暇を使い色々な所にお出かけしている。外出レクリエーションを通して、公共の場でのルールを学ぶ機会を多く設けている。また、季節を感じられる工作や遊びを通して伝統的な行事について触れる機会を設けている。	子ども達の興味や関心に関する事を日ごろから模索し、また保護者からの要望なども面談時に確認し、子ども達が将来必要とするであろう知識や常識が楽しく学べる活動や外出レクリエーションを取り入れていきたい。
2	子どもたちが安心感を感じながら、楽しく事業所に通う事ができている	子どもたちが安心安全に過ごせる空間・環境を提供できるように配慮し、一人一人の個性や特性に合わせて対応するように努めている。一人一人の興味関心にも配慮しながら、自分の意思でやることを決めること、自分の意見をきちんと伝えられること、に重点をおいて支援している。	安心して過ごせる環境であり続けるために、子どもたちと職員の関係性の構築にさらに努めていきたい。子どもたちの興味や関心は常に変化していくので、その変化を見逃さないように努める。子どもたちのやりたい気持ちにも応えられるよう、職員が提供する活動だけでなく、子どもたちの意見にも極力耳を傾け、楽しく過ごしてもらえ環境を提供していきたい。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供の充実	ペアレントトレーニングを行える専門知識を持つ職員が少ない。外部研修や研修を行う事が出来る専門機関との関係性がまだ十分に構築できていない。また、研修などの情報提供は行うことは可能だが、保護者がどのような内容の研修を必要としているか、また、そもそもそのような機会を必要としているかを把握する事が難しい。	ペアレントトレーニングを行える人材の育成が必要。内部の職員以外にも研修を行える機関との関係性を強化していく。
2	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会が少ない	営業日が月～金と基本的に平日の授業後なので、地域の行事などに参加する機会が少ない。	長期休暇などを利用して地域の施設のイベントへの参加や児童館、地域の公園などの利用を増やし、地域の他のこどもとの交流を図ってきたい。